



「CAC 第 8 回 SWIFTeS 研究会」 開催レポート

株式会社 CAC エクシケア

「SWIFTeS(スウィフト)」は、製薬メーカー様の新薬開発において、医薬品医療機器総合機構へ提出する申請関連文書の作成を支援するパッケージツールです。

現在、SWIFTeS は 19 社の製薬メーカー様にご導入いただいております。弊社では、SWIFTeS ユーザー様に向けて、年一回の合宿研究会を開催しています。今年は、大塚製薬株式会社様の保養施設である大塚天城山荘を会場にお借りして、2010 年 12 月 9 日(木)から 10 日(金)に「CAC 第 8 回 SWIFTeS 研究会」を開催しました。

本研究会の目的は、ユーザー様から SWIFTeS の実践的な利用状況のご報告、および改善や機能拡張のご要望をいただき、当社からは業界動向や製品開発に関する最新情報を提示しながら、ユーザー様と SWIFTeS 相互の親和

的発展を目指してディスカッションを行うこと。そして、当社申請グループのメンバー、および新薬申請という同じ仕事に携わっておられるユーザー様同士の親睦を図っていただくことにあります。

その目的は、研究会の回を重ねるごとに深く達せられており、毎年の参加を楽しみにされているユーザー様も多数おられ、今回は 14 社 28 名のユーザーの方々に参加申し込みをいただきました。

その期待に応えるべく、研究会のテーマと進行について検討を重ねて、アジェンダ/プログラムを次のとおりとしました。特にテーマ 2 と 3 は、近い将来から次世代の新薬申請へ向けて、新たな申請ソリューション/サービスを拡充していくために設定しました。

テーマ 1	「SWIFTeS の製品情報と今後の方針」
テーマ 2	「電子申請(eCTD)を踏まえた申請文書作成業務の効率化と高品質化に向けて」
テーマ 3	「XML および DITA について」 講師：(株)ジャストシステム 加藤 哲義 氏 (DITA コンソーシアム 事務局長) 弊社 松井 一



研究会のディスカッションでは、SWIFTeS の話題に留まらず、今後の申請業務とドキュメント作成／管理の変遷に対応した新サービスの模索に至るまで、白熱の議論が展開され、時間が足りなくなるほどでした。ユーザーの皆様より、「自分たちで SWIFTeS を育成するのだ、新薬申請の未来を牽引していくのだ」という強い意志が、ひしひしと伝わってくる研究会となりました。

また、夕食では大塚天城山荘の美味しい料理をいただきながら、賑やかで和やかな懇親会となりました。歓談されながらも、ともすれば日頃の仕事へと話題が移り、情報やノウハウ交換をされているご様子でした。

お客様と膝を突き合わせたマーケティング活動を行い、吸い上げた様々なニーズをコストに照らして開発し、バランスが取れた製品を提供することで、お客様に自負と納得を持ってご導入いただくことが、本研究会のような密着深耕型プロモーションを実施する真意です。

今後は、SWIFTeS 研究会で得られたコンテンツを精査しながら次期開発へと反映することで、ユーザー様に喜んで購入いただき、末永く利用いただけるツールとして、SWIFTeS を発展させていく所存です。

ユーザー様からのお言葉

研究会の後日に、参加されたユーザー様より、次のとおり、嬉しいお言葉をいただきました。

「たいへん有益でした。持ち帰った情報を、ぜひ弊社で活かしていきたいと思っています。」

「なかなか同業他社の方とは交流するチャンスが無いので、たいへん有意義な情報交換ができました。」

「eCTD や DITA についてなど、知らなかったことをいろいろと勉強させてもらい感謝です。」

「今から次の機会を楽しみにしていますので、またお声掛けください。」

【SWIFTeS 研究会懇親会の様子】

